機械設備工事特記仕様書

◉印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要

工事名称	大山田給食センター改修工事
工事場所	三重県伊賀市大山田　地内　　＊建築仕様書参照

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	備考
				＊建築仕様書参照

一般事項

適用仕様書	○ 三重県公共工事共通仕様書 ◉ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　※平成28年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）　※平成28年版」 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）　※平成28年版」 ○ 空気調和・衛生工学会規格　「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」 ○ 日本建築家協会編　「建築設備工事共通仕様書」 ◉ 所轄水道局　○ ガス供給社内規　◉ 消防関係法規（所轄署指導要綱含む）　◉ その他関連法規
優先順位	1．質疑回答書　2．本特記仕様書　3．設計図書　4．工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。 施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。
機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、 その他諸資料を事前に届け出ること。　尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、 メーカーの選定にあったっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律 （グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等 とりまとめ提出すること。
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）一建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。 カラーサービス版とする。
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に 処理する。（マニフェストA票、E票の写しを監督員に提出すること） 建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保 及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。

特記事項

- ◉ 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。
- ◉ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように　「建築設備耐震設計指針」により施工する。
- ◉ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。
- ◉ 建物導入配管（給水、ガス、消火）は充分な可撓製を有する変位吸収配管施工をおこなう。
- ◉ 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはＶＰ管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。
- ◉ 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地３００mm以上、車両道路部６００mm以上とする。
- ◉ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
- ◉ 土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。
- ◉ 屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- ◉ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。
- ◉ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。

共通事項

保温工事	○ 保温施工範囲は共通仕様書による。 ◉ 保温施工種別　○ 共通仕様書による。 ◉ 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）

屋内露出	グラスウール保温筒	綿布仕上げ　塗装
屋外露出・多湿箇所	グラスウール保温筒	ステンレス鋼鈑仕上げ
天井・ＰＳ内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス
床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）

◉ 保温厚さ　○ 共通仕様書による。　◉ 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）

	80A以下	100～150A	200A以上
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）	20mm	25mm	40mm

	25A以下	32～200A	250A以上
冷水管・冷温水管	30mm	40mm	50mm

◉ 冷媒配管保温は化粧ケース仕上げ

工事種別

	屋外	屋内		屋外	屋内
給排水衛生設備			空調設備		
給水設備	○	◉	機器設備		◉
排水設備	○	◉	配管設備		◉
衛生器具設備		◉	ダクト設備		○
給湯設備		◉	換気設備		○
ガス設備	○	◉	排煙設備		○
消火設備	○	○	自動制御設備		○
ろ過設備		○	床暖房設備		○
浄化槽設備	○				

工事範囲

◉ 給水設備

◉ 給水方式	◉ 水道直結方式	
	○ 高架水槽方式	○ 市水　○
	○ 圧送方式	○ 圧力タンク　○ 回転数制御
○ 受水槽　本体	○ ＦＲＰ製	○ 一体型　○ 複合板　○ 単板
		○ パネル型　○ 複合板　○ 単板
	○ ステンレス製	○ 一体型　○ パネル型
	○ 鋼鈑製	○ 一体型　○ パネル型
○ 高架水槽　本体	○ ＦＲＰ製	○ 一体型　○ 複合板　○ 単板
		○ パネル型　○ 複合板　○ 単板
	○ ステンレス製	○ 一体型　○ パネル型
◉ 配管材料	◉ ライニング鋼管	一　般　◉ ＶＡ　○ ＶＢ　○ ＶＤ　○ ＰＡ　○ ＰＢ　○ ＰＤ
		地　中　◉ ＶＤ　○ ＰＤ　○ ＳＵＳ
	○ 塩化ビニル管	一　般・地　中　○ ＨＩ　○ ＶＰ　○ ポリ管
	○ さや管工法	○ 架橋ポリ管　○
◉ 弁　類	直結部分	○ 水道業者指定品
	その他の部分	○ ＪＩＳ　５　ｋｇｆ／ｃｍ２　◉ ＪＩＳ　１０　ｋｇｆ／ｃｍ２
○ 量水器	○ 貸与品	○ 買取品（私設）
○ 引込加入、市納金等	○ 要	○ 別途工事　○ 本工事
	○ 不要	
○ その他	○	

◉ 排水設備

◉ 排水方式	屋　内	◉ 分流方式　○ 合流方式
	屋　外	○ 分流方式　◉ 合流方式
	雨　水	◉ 分流方式　○ 合流方式
◉ 放流先	汚　水	○ 下水管　○ 浄化槽　○ 合併処理槽　◉ 既存管
	雑排水	○ 下水管　○ 合併処理槽　○ 側溝又は河川　◉ 既存管
	雨　水	○ 下水管　○ 調整池　○ 側溝又は河川　◉ 既存桝
◉ 配管材料	屋内汚水管	○ メカニカル形排水鋳鉄管　○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手） ◉ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管
	雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）［機械廻り］　○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手） ◉ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐熱性硬質塩化ビニル管（ＨＴ）　○ 耐火被覆ビニル管
	通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◉ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管
	屋外排水管	○ 遠心力鉄筋コンクリート管　（外圧管　○ ２種　○ １種） ◉ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 硬質塩化ビニル管（ＶＵ）［１５０以上］
○ 桝　類	○ 公団形（Ｂ種）	○ 現場打ち　○ 市販桝　○ 小口径　○ ビニル桝
○ その他	○	

◉ 衛生器具設備

○ 大便器洗浄方式	○ ＦＶ	○ 節水形　○ 低圧形
	○ 洗浄タンク	
◉ 水　栓	◉ 節水コマ（泡沫式は除く）	○ 普通コマ
○ その他	○ 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。	

◉ 給湯設備

◉ 給湯方式	○ 中央式	○ ボイラー　○ 温水機　○ ガス給湯器　○ 電気温水器
	○ 局所式	○ ガス給湯器　○ 瞬間湯沸器　○ 電気温水器
◉ 配管材料	○ 銅管（○ Ｍ　○ Ｌ）	○ 被覆銅管　（○ Ｍ　○ Ｌ）
	○ ステンレス鋼管	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）［油］　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）［温水］
	◉ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	◉ 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管［土中、暗渠］
	○ 耐熱性硬質塩化ビニル管	○ さや管工法　（○ 架橋ポリ管　○　　）
◉ 燃　料	○ 都市ガス　○ ＬＰＧ	○ 灯油　○ Ａ重油　○ 電気
○ その他	○	

◉ ガス設備

◉ ガスの種別	○ 都市ガス	（種別　発熱量　ｋｃａｌ／ｍ３） 供給事業者名
	◉ 液化石油ガス	（発熱量　１２，０００ｋｃａｌ／ｋｇ）
◉ 配管材料	◉ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ ビニル被覆鋼管［地中埋設部］　◉ ポリエチレン被覆鋼管［地中埋設部］　○ ポリ管	
	○ 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。	
○ ボンベ	○ 別途工事　○ 本工事	
	ボンベ	（○ １０ｋｇ　○ ２０ｋｇ　○ ５０ｋｇ）　本数（３本+３本）
	転倒防止鎖等	（○ 本工事　○ 別途工事）
○ 気化装置	○ 要	○ 電気式　○
	○ 不要	
○ メーター	○ 貸与品	○ 買取品
○ ガス漏れ検警報器	○ 本工事	○ 別途工事
	○ 一般形	○ 自動遮断弁付
○ 引込納付金等	○ 要	○ 別途工事　○ 本工事
	○ 不要	
○ その他	○	

○ 消火設備

○ 消火設備の種別	○ 屋内消火栓	○ 屋外消火栓	○ スプリンクラー	○ 泡消火	○ 粉末内消火
	○ 連結送水管	○ 連結散水管	○ 移動粉末消火	○ フード消火	○ 消火器
○ 屋内消火栓箱	○ ＨＢ－１Ａ	○ ＨＢ－１Ｂ	○ ＨＢ－２Ａ	○ ＨＢ－２Ｂ	
	○ ＨＢ－３Ａ	○ ＨＢ－３Ｂ	○ ＨＢ－４Ａ	○ ＨＢ－４Ｂ	○ Ｓ
○ 屋外消火栓箱	○ ＨＢ－２１	○ ＨＢ－２２			
○ 連結送水管	○ ＨＢ－１１Ａ．Ｂ	○ ＨＢ－１２Ａ．Ｂ			
○ 配管材料	○ 鋼管（○ ＪＩＳ　Ｇ　３４５２　○ ＪＩＳ　Ｇ　３４５４）　○ 消火用塩ビ外面被覆鋼管（ＶＦ）				
○ 消火栓弁	○ ＪＩＳ　１０　ｋｇｆ／ｃｍ２				
○ その他	○ 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。				

○ ろ過設備

○ ろ過方式	○ 砂	○ フィルター
○ 制　御	○ 全自動	○ 手動
○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　○ 耐熱性硬質塩化ビニル管	
○ その他	○	

○ 浄化槽設備

○ 方式・容量	○ 合併	○ 単独
	算定人員　人槽　処理水量　ｍ３／日	
○ 材　質	○ ＦＲＰ製　○ コンクリート既製管　○ ＲＣ躯体	
○ 補強スラブ	○ 要	○ 不要
○ その他	○	

◉ 機器設備

◉ 設計空気条件（指示なきは建設省建築設備設計基準による）

<夏季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	34.0	27.5	60.0
室内条件	26.0	---	50.0

<冬季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	0.0	−3.0	40.0
室内条件	22.0	---	成行

○ 熱源機器	○ 冷温水発生機　○ チラー　（○ 空冷ＨＰ　○ 空冷　○ 水冷ＨＰ　○ 水冷） ○ 温水ボイラー　○ 氷蓄熱
◉ 放熱器	◉ ＥＨＰ　○ ＧＨＰ　○ ＦＣＵ　○ ＡＣＵ
○ その他	○

◉ 配管設備

◉ 配管方式	◉ 冷媒配管　○ 冷温水配管　○ 冷却水配管　○ 温水配管	
◉ 配管材料	◉ 冷媒管	○ 冷媒用銅管　◉ 冷媒用被覆銅管
	○ 冷温水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
	○ 冷水・温水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
	○ 冷却水管	○ ライニング鋼管（○ ＶＡ ○ ＶＢ）　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
	◉ ドレン管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◉ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
	○ 油管	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ 外面塩ビ被覆鋼管
	○ 蒸気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
○ 弁　類	○ ＪＩＳ　５　ｋｇｆ／ｃｍ２　○ ＪＩＳ　１０　ｋｇｆ／ｃｍ２ 呼び径１００Ａ以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。	
○ その他	○	

○ ダクト設備

○ 風　道	○ 低速風道　○ 高速風道
○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板　○ 塩化ビニルライニング鋼鈑　○ ステンレス鋼鈑　○ グラスウールダクト　○ 消音フレキ
○ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製　○ 鋼鈑製（指定色焼付塗装）
○ その他	○

○ 換気設備

○ 換気方式	○ 集中換気　○ 個別換気
○ 風　道	○ 低速風道　○ 高速風道
○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板　○ 塩化ビニルライニング鋼鈑　○ ステンレス鋼鈑　○ 硬質塩化ビニル管（ＶＵ）　○ スパイラルダクト
○ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製　○ 鋼鈑製（指定色焼付塗装）
○ 耐火被覆	○ 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
○ その他	○

○ 排煙設備

○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板　○ 普通鋼鈑（厚１．６mm）
○ 排煙口	○ 天井取付　（○ スリット形　○ スイング形）
○ 排煙口開放装置	○ 手動　○ 手動及び遠隔操作可能なもの
○ 復帰方式	○ 遠隔形　○ 手元形
○ 排煙風量測定	○ 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
○ その他	○

○ 床暖房設備

○ 熱源	○ 都市ガス　○ ＬＰＧ　○ 灯油　○ 電気
○ その他	○ 仕様等、図示による

メーカーリスト

下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

管	継手共	水マーク表示品／ＷＳＰ表示品／ＪＩＳマーク表示品／ＨＡＳＳ表示品／ＪＰＦ規格品／ＳＡＳ規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	ＪＩＳマーク表示品
保温材	ＲＷ・ＧＷ保温材	ＪＩＳマーク表示品
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による
衛生器具	衛生器具類	ＪＩＳマーク表示品　ＪＩＳ規格以外：ＬＩＸＩＬ／ＴＯＴＯ
水槽	ＦＲＰ水槽	積水プラント／日立化成／ブリジストン／三菱樹脂
	鉄パネル水槽	積水プラント／ブリジストン
桝	桝類（公団型）	協和コンクリート／桑名工業／昭和工業／ネオジオ／丸八産業
	桝類（塩ビ桝）	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品
鋳鉄製品	排水金物	オオタケファンドリー／カネソウ／ダイドレ／中部コーポレーション／南濃鋳工／福西鋳物／ホクキャスト
	鋳鉄製蓋	評価事業名簿による
量水器	量水器	愛知時計電機／金門製作所／リコーエレメック
ガス器具	ガス配管器具	伊藤工機／桂精機製作所／藤井合金製作所／富士工器
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の承認する製造者の製品
	ガス給湯器（ＬＰＧ）	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したもの
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所／富士工器／富士電機／松下電工／矢崎総業
厨房機器	厨房システム	評価事業名簿による
濾過装置	濾過機	オルガノ／栗田工業／サンエイ工業／三協／三進ろ過工業／タクマ／理水化学工業
滅菌機	滅菌機	磯村製作所／オーヤラックス／水道機工／日本曹達
消火設備	消火栓類	立売堀製作所／岸本産業／北浦製作所／村上製作所／横井製作所
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー・泡消火	ノーミ／ニッタン／日本ドライケミカル／能美防災／ホーチキ
	特殊ガス消火	川重防災工業／セコム／日昭・林テクノス／日信防災／ニッタン／能美防災
浄化槽	合併浄化槽（ＲＣ造）	神鋼パンテック／ダイキ／東海不二工業／西原ネオ工業／フジクリーン工業／藤吉工業
	合併浄化槽（ＦＲＰ製）	建設大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	ＬＩＸＩＬ／積水化学工業／ネポン／日立化成工業／松下電器産業／ロンシール
ブロア	ブロア	朝日機工／アンレット／新明和工業／安永
グリストラップ	グリス・ガソリントラップ	カネソウ／栗本鐵工所／下田機工／積水プラントシステム
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所／広島鉄工／ベルテクノ／前田鉄工所／前田鉄工所（四日市）／森松工業
空気調和機	パッケージ形空調機	ダイキン工業／東芝／日立製作所／松下電器産業／三菱重工業／三菱電機
	ガスエンジン空調機	アイシン／三洋／三菱重工／ヤンマー
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工／高砂ゴム／特許機器／ブリヂストン／明和ゴム化成
加湿器	加湿器	ウェットマスター／ピーエス工業／山武軽装
送風機	送風機類	評価事業名簿による
換気扇	換気扇類	栗田工業／東芝／日立製作所／松下電器産業／三菱電機
ダクト付属品	吹出口・吸込口	空研工業／新晃工業／トーキン／錦興業
	風量ユニット	エアコンスター／クボタ／新晃工業／東プレ
ダクト	亜鉛鉄板	ＪＩＳ規格品
	ステンレス鋼鈑	ＪＩＳ規格品
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業／栗本鐵工所／泰弘／富士空調工業／フジモリ産業
	フレキダクト	アライ実業／オーツカ／栗本鐵工所
自動制御	自動制御機器	トキメックランデイスギア／山武ハネウェル／横河ジョンソンコントロールズ

PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備　特記仕様書			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. M−1(6)

図 示 記 号

記　　号	名　　称
――――― – ―――――	給　水　管
――――― I ―――――	給　湯　管（往）
――――― II ―――――	給　湯　管（還）
――――― G ―――――	ガ　ス　管
―――――――――――	排　水　管
――――― R ―――――	冷　媒　管
――――― D ―――――	ド　レ　ン　管

記　　号	名　　称
	給　水　栓
	混　合　水　栓
	フ　ラ　ッ　シ　ュ　バ　ル　ブ
	弁　　類
	床　上　掃　除　口
	排　水　金　物

衛 生 器 具 表

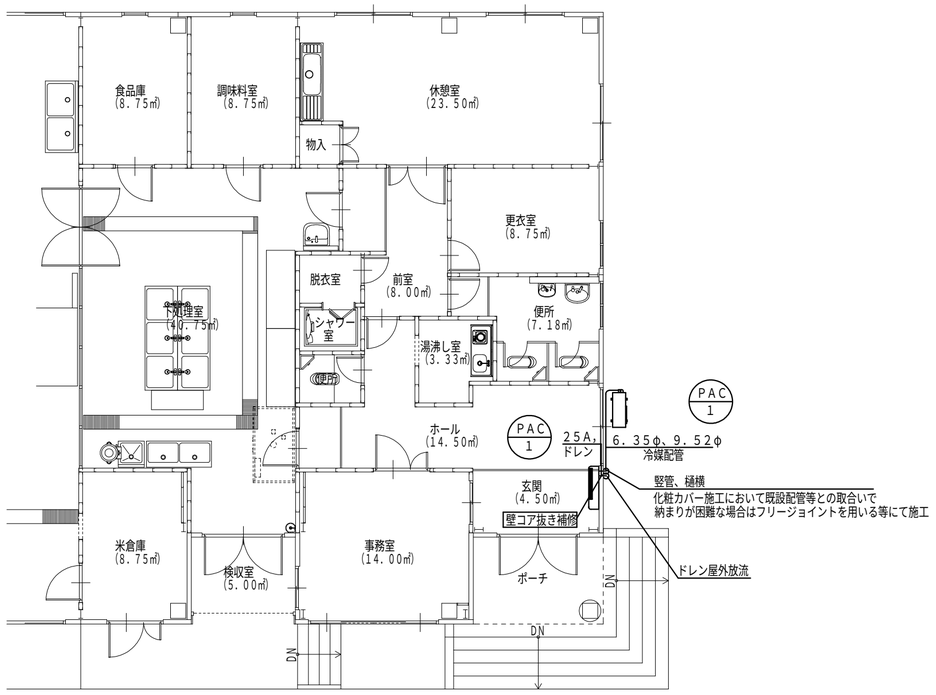
名　称	参考品番	付　属　品　　その他一式共	給食センター 1階 洗浄室	調理室	下処理室		外部	合計
大型洗面器	L103DMP	TENA50A（自動混合水栓：サーモ付），T7PW9，TS126AR（水石鹸入），TL220D，HH04060		3				3
混合水栓	TKGG31EC	シングルレバー混合水栓　　固定金具共	10	3	5			18
カップリング付横水栓	T28AUNH13	（床清掃用）	1					1
ＳＵＳフレキ管（水）	（ベンリー直パイプ相当）	先端部：泡沫水栓　Ｌ＝４００		4				4
ＳＵＳフレキ管（湯）	（ベンリー直パイプ相当）	先端部：泡沫水栓　Ｌ＝４００ 断熱材付		4				4

注記）　器具取付箇所は事前に打合せを行い建築工事にて必要な補強を行う事。
洗面器用水栓、止水栓の設置場所、個数については各平面図器具表も参照
水栓の形状は参考として、承認図提出の上、確認の上、最終決定とする

空 調 機 器 表　（ 新 設 ）

記号	機器名（参考型番）	機器仕様		電気容量 電源	消費電力（kW）		台数	設置場所	備考（参考値） 配線	開閉器	室内機寸法 (mm) / 室外機寸法 (mm)	重量 (kg)
PAC 1	空冷ヒートポンプ式	形　式	壁掛形	3φ 200V	冷房	1.04	1	玄関	1.6	15A	H320*W1050*D228-12kg	
	パッケージエアコン	冷房能力	4.0（1.0～ 4.5）kW		暖房	1.18					H550*W780*D290-36kg	
		暖房能力	4.5（0.8～ 6.7）kW		低温暖房	2.20						
	AKSA04566X	冷媒配管	液管 6.4φ ガス管 12.7φ		圧縮機	1.1						
					APF	5.6						
		附属品	ワイヤレスリモコン、他一式		送風機（内）	0.03						
			転倒防止支持金物		送風機（外）	0.043						
		基　礎	既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷									

注記）
＊1．室外機ー室内機間の2次側配線（EEF2．0－3C）は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
＊2．電源容量値、寸法重量等は参考値として納入メーカー仕様による。
＊3．運転特性、能力はＪＩＳ条件による。
＊4．室外機：転倒防止支持金具取付のこと。
＊5．断熱材被覆銅管　原管はＪＩＳ　Ｈ３３００による。
保温厚はガス管２０mm、液管１０mm（１０φ以下は8mm）とする。



空調設備平面図　1:100

PROJECT			PROJECT NO.
大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			
DRAWING			SCALE
凡例･器具表･機器表･空調平面図			1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			'17. 2.
			DRAWING NO.
			M－2

洗浄室			
品名		個数	備考
レバー式混合水栓	（コンテナ洗浄）	1	新　設
レバー式混合水栓	（シンク）	9	新　設
ＳＵＳフレキ		9	新　設
カップリング横水栓	（床水栓）	1	新　設

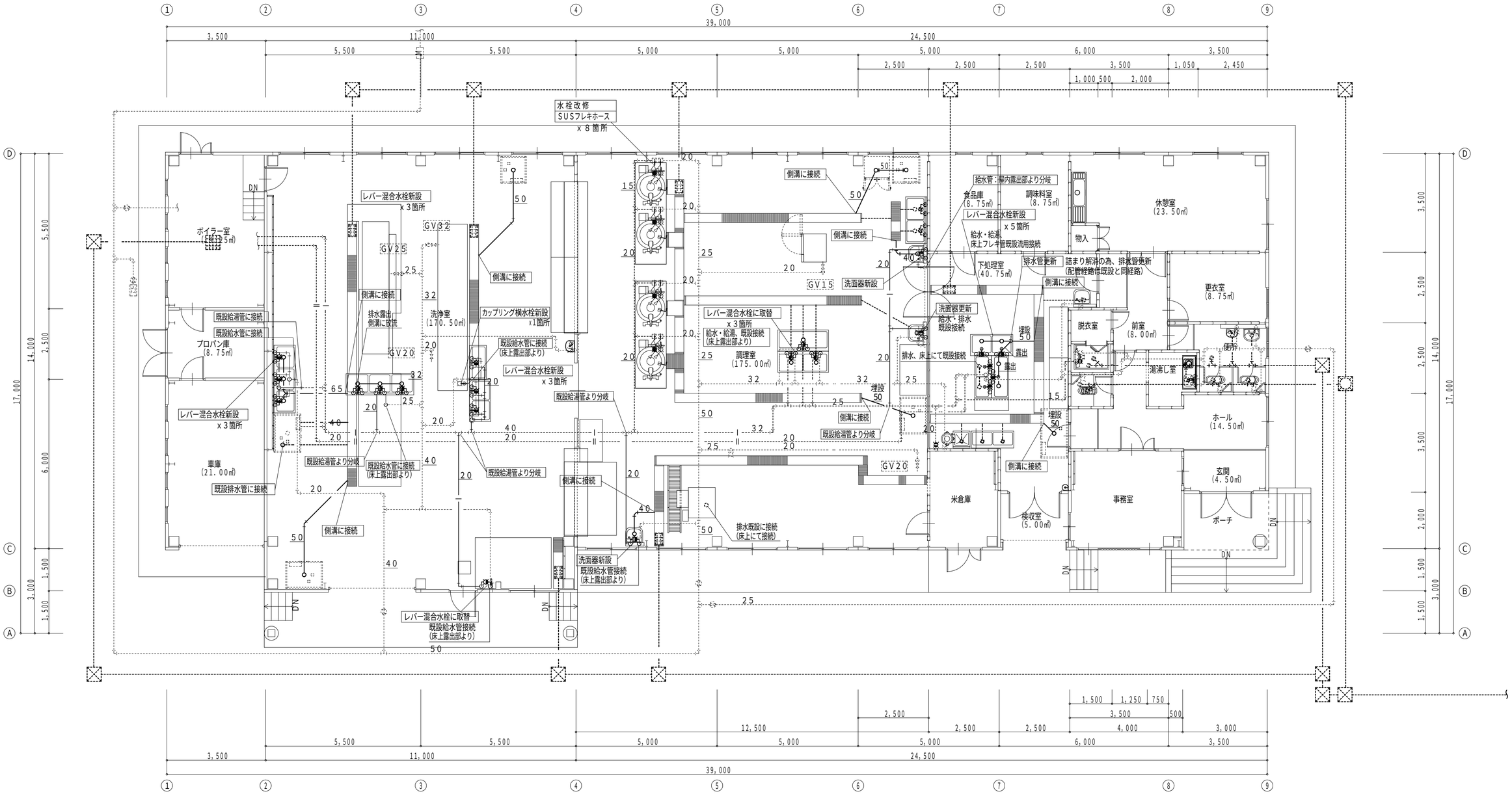
シンク下の露出配管接続はＳＵＳフレキにて水栓接続

調理室（釜）			
品名		個数	備考
ＳＵＳフレキ水栓（水）	先端部：泡沫水栓　Ｌ＝４００	4	新　設
ＳＵＳフレキ水栓（湯）	先端部：泡沫水栓　Ｌ＝４００	4	新　設
	（ベンリー直パイプ相当）		

ＳＵＳフレキ管（湯）には保温付とする
フレキ管の長さは参考として、現場にて釜部との距離を確認の上、最終決定とする

下処理室			
品名		個数	備考
レバー式混合水栓	（シンク）	5	新　設

床上露出部のＳＵＳフレキ管は既設を流用



凡　例	
――――――	今回改修箇所を示す
----------	今回既存箇所を示す

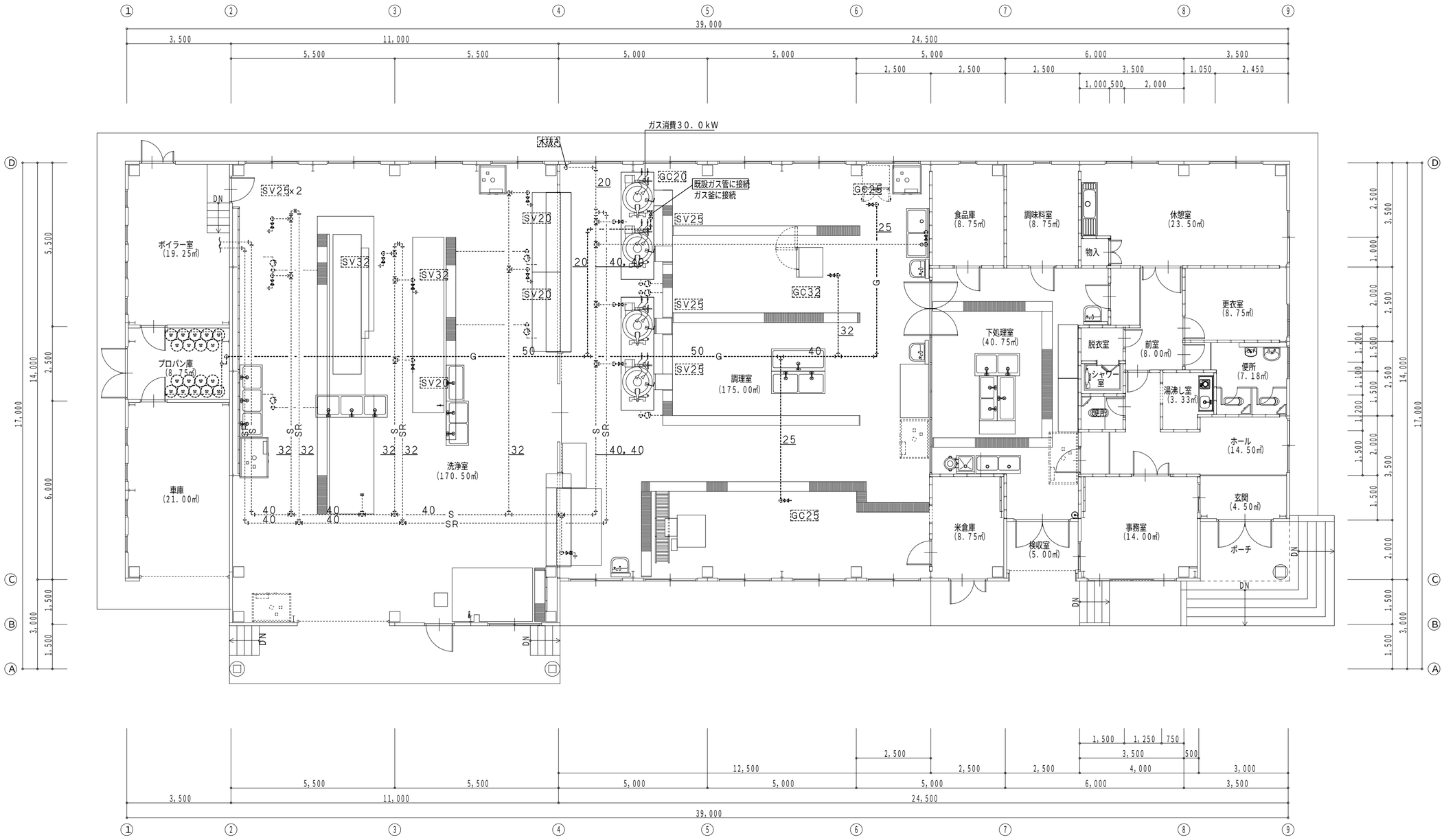
注記）
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

土間はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

調理室			
品名		個数	備考
レバー式混合水栓	（シンク）	3	新　設
ＳＵＳフレキ		3	新　設
大型洗面器	自動混合水栓	3	新　設

シンク下の露出配管接続はＳＵＳフレキにて水栓接続

PROJECT			PROJECT NO.
大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			
DRAWING 平面図（改修後）　給排水衛生設備			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. M−3



凡 例	
————————	今回改修箇所を示す
----------	今回既存箇所を示す

注記)
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

土間はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 平面図(改修後) ガス・蒸気配管設備			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. M−4

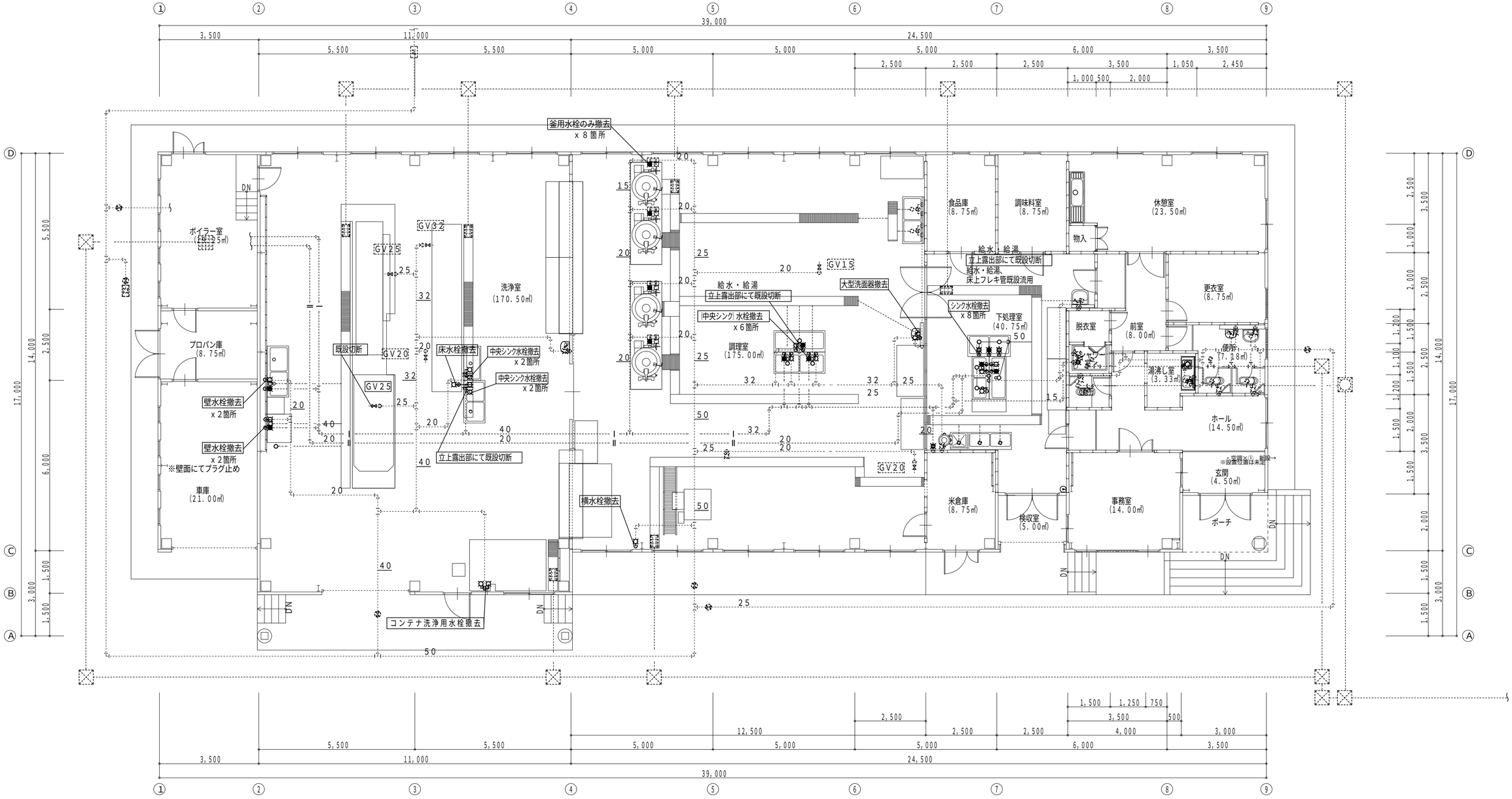
洗浄室			
品名		個数	備考
水栓	（コンテナ洗浄用）	2	撤　去
水栓	（中央シンク）	4	撤　去
床水栓		1	撤　去
壁水栓		4	撤　去

水栓撤去箇所、給水管既設切断

調理室			
品名		個数	備考
水栓	（釜用）	8	撤　去
水栓	（中央シンク）	6	撤　去
大型洗面器		1	撤　去
横水栓	清掃用	1	撤　去

下処理室			
品名		個数	備考
水栓	（シンク）	8	撤　去

床上露出部のＳＵＳフレキ管は既設を流用

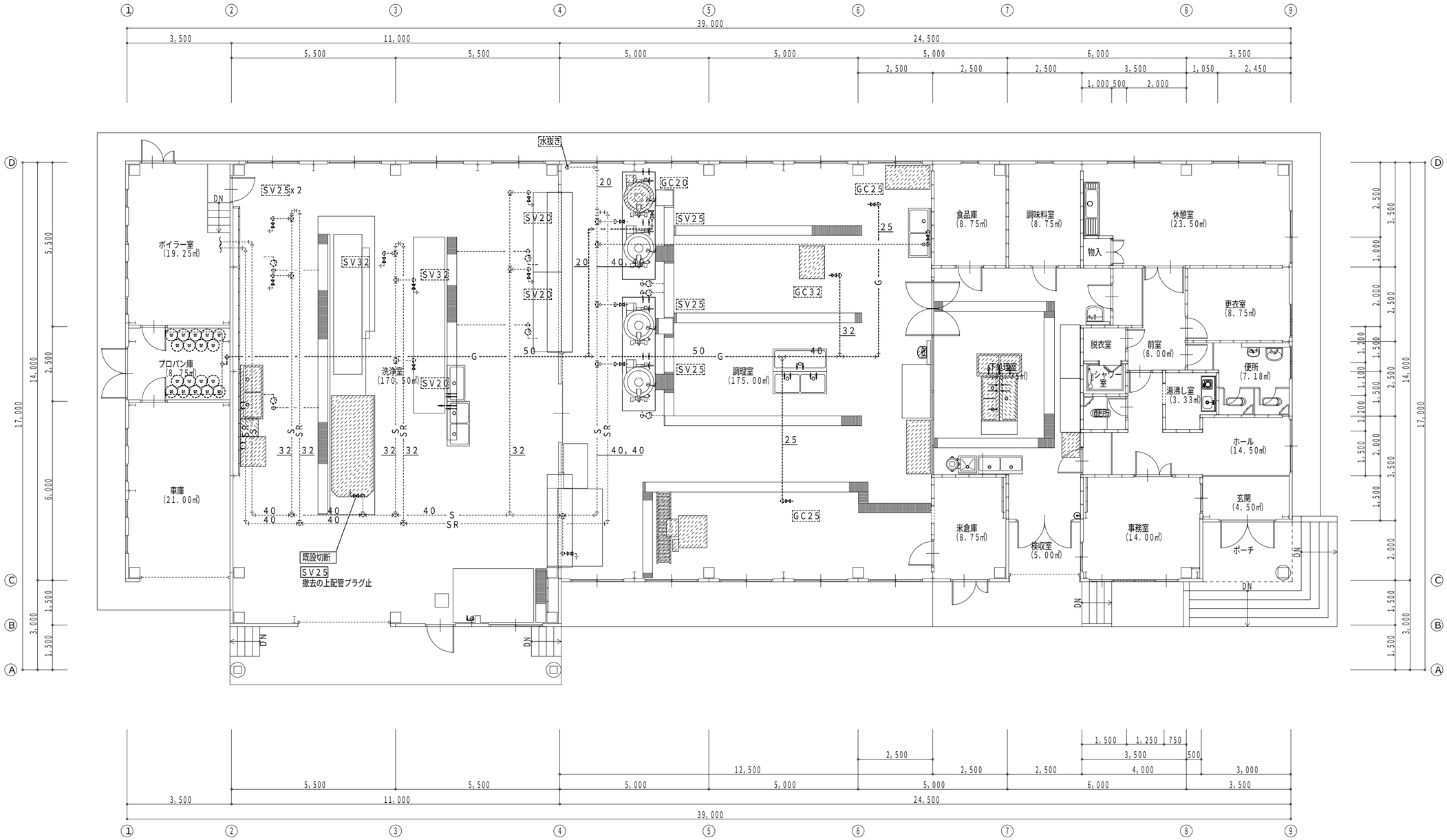


凡　例	
――――――	今回撤去箇所を示す
----------	今回既存箇所を示す

注記）
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

土間はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 平面図（既設）　給排水衛生設備			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. M−5



凡 例	
————————	今回撤去箇所を示す
----------	今回既存箇所を示す

注記)
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

土間はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 平面図(既設) ガス・蒸気配管設備			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. M−6(E)